

RT JOURNAL



Vol. 24

RT JOURNAL Vol.24では、社内セミナーの「エコドライブ講習会」についてお届けいたします。
また 当社のマスコットキャラクターであるリサコを使用した「ごみ分別ステッカー」の新デザインを発表いたします。
楽しんでご覧ください。

～エコドライブ講習会開催～

リーテック社内セミナーとして「エコドライブ講習会」を開催いたしました。
各拠点のより多くの方が参加できるよう、開催日を 8月30日・9月2日・9月8日 と3日間設け、リモートでの開催となりました。
参加者の中には「普段運転をしてない方」や「運転に興味を持っている方」もあり、日ごろから自動車運転に関心がある方にとって、よい機会となりました。

講習会で使用した資料

今回の「エコドライブ講習会」の講師は、前職がディーラーという 東京RSCセンター所属の社員にお願いをしました。講習会の資料を作成するにあたり、エコドライブとは何かを前提に、参加者へどのように伝えればよいのか考えてくださいました。エコドライブと安全運転は切っても切れないものです。事故を起こさない事こそがエコドライブだと考え、そのうえで交通事故をいかにゼロに近づけるかを意識し作成していただきました。



～エコドライブ講習会の内容を一部ご紹介～

講習内容は全14項目からなり質疑応答も交え、およそ30分の講習会を実施いたしました。
「ブレーキング」や「アクセルワーク」といった車の走行に関する説明から、運転時の「時間に対する意識」や「道路交通法の遵守について」など幅広く説明を行っていただきました。
今回短い時間でお届けいたしましたが、参加者の方から「もっとエコドライブについて知りたい」というお声を多数いただきました。

以下は「ブレーキング」についての資料の一部となります。同じブレーキでも「エンジンブレーキ」「フットブレーキ」「急ブレーキ」とあり、車体に掛かる重力をわかり易くベクトルイメージで表現していただきました。「エンジンブレーキ」と「急ブレーキ」では、車体へ掛かる重力に大きな差があることが一目でわかります。急ブレーキがどれだけ危険なものなのか参加者に強く注意喚起を行っていただきました。

・エンジンブレーキのベクトルイメージ

斜め下に重力が掛かるとお考えください。
車体が路面に押し付けられ、前後の加重移動が少ない減速が出来ます。(ピッチが小さい運転)
これは、減速しても積み荷が安定する事になります。
また、自家用車でも同乗者の前後の揺れが少なくなりますので、安全、安心に繋がります。



・急ブレーキのベクトルイメージ

ほぼ真正面に重心が持っていかれ、頭が大きく揺れます。
車体も激しく前のめりになり、荷崩れ貨物事故になります。
鋼材や重機を積んでいる場合、
鋼材がキャビン突き抜けドライバーに刺さる死亡事故、
重機を止めているワイヤーが切れて車体から落ちてしまい周辺車を巻きこむ
重大多重事故になります。



トラックは、急ブレーキをかけられない乗り物！かけたらおしまい！ぐらいの気持ちを持って運転してください。

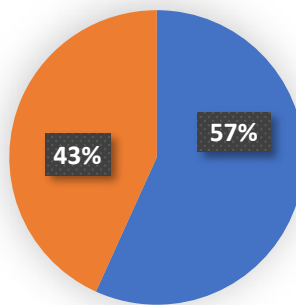
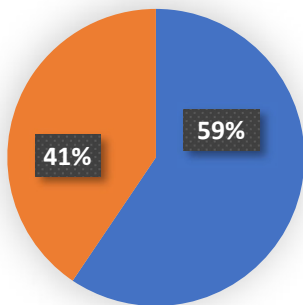
～エコドライブ講習会、アンケート結果～

「エコドライブ講習会」に参加して下さった方々に、講習会後にアンケートを実施いたしました。講習内容の全14項目それぞれについて、内容の理解度を4段階で評価していただきました。その中で、『人間は不安や焦りがあるとエラーを起こしやすい、事前準備、確認、時間に余裕をもった計画が大切である』という「心と時間のゆとり」と、『運転以外の事に気を取られると安全確認がおろそかになり危険の発見が遅れが生じる、道路交通法の罰則改定について』の説明の「携帯電話は手の届かない所へ」の項目では、【よく理解できた】と評価して下さった方が多く、【理解できなかった】【全くわからなかった】を選んだ方はいませんでした。心にも時間にもゆとりを持つことの大切さ、携帯電話に気を取られて起こる危険等は、普段の私たちの生活でも当てはまる事が多く参加者の理解度が高かったと伺えます。その他にも「勉強になった」「もっと知りたい」「次回も楽しみにしている」といった嬉しい感想を沢山いただきました。講師社員も、次回開催の講習会に向けさらなる案を考えてくださっています。

アンケート結果

心と時間のゆとり

携帯電話は手の届かない所へ



- 1.よく理解できた
- 2.理解できた
- 3.理解できなかった
- 4.全くわからなかった

～リサコ・ごみ分別ステッカー～

CSR活動の一環として当社のマスコットキャラクター「リサコ」を使用したごみ分別ステッカーを作成いたしました！

ごみの分別表示は、これまでそれぞれの拠点で行っていましたが、今回新デザインをCSR委員会で作成し、各拠点のCSR委員が中心となり、掲示活動を実施いたしました。



一般ごみだけでなくセンター内の廃棄物保管場所などにも使用し、ごみ分別の徹底を呼び掛けています。統一したデザインを使用することで、ごみの分別に対するさらなる意識向上を目指すとともに、全社で一体感・連帯感を持ってCSR活動に取り組むことを目的としています。



編集
後記

いかがでしたでしょうか。エコドライブ講習会は多くの方が参加され、アンケートでも好評をいただき 大成功です！ CSR委員会デザイン「リサコ・ごみ分別ステッカー」幅広く活用し、ごみ分別をきちんと行っています。